

## 1. 当初予算のポイント

### (1) 予算規模

令和8年度の一般会計当初予算案は、240 億 5,000 万円（1.2%減）となりました。防災対策や環境事業を重視しつつ、計画的に進めてきた駅周辺整備、公共下水道事業のほかに、子どもから高齢者まで幅広い世代への福祉事業など全体に目配りした予算編成を行いました。障害者福祉、保育所費などの民生費の伸びや、教育費の小学校体育館空調設備整備事業、水道耐震化事業への出資金などが主に増加している事業です。

全会計では、350 億 7,019 万 5 千円（1.5%増）となりました。国民健康保険事業特別会計では 8,457 万円の増（1.8%増）、後期高齢者医療事業特別会計では 9,855 万 5 千円の増（12.1%増）、水道事業会計では 3 億 5,863 万 6 千円の増（33.6%増）、下水道事業会計では 2 億 6,602 万 1 千円の増（7.2%増）となりました。

単位：千円

区 分	R8当初	R7当初	増 減 額	増 減 率	備 考
全 会 計	35,070,195	34,562,413	507,782	1.5%	
一 般 会 計	24,050,000	24,350,000	△300,000	△1.2%	

### (2) 歳 入（一般会計）

一般会計の歳入について、まず市税は、個人市民税について、人口が微増傾向であること、経済活動の回復等や、企業の賃上げの動きを背景とした給与所得の増加を見込みました。市税全体で 75 億 8,284 万円（1.4%増）としました。次に地方交付税については、国の地方財政計画により 36 億 8,400 万円（1.1%減）としました。次に国・県支出金は民生費の扶助費の伸びにより 55 億 6,566 万 7 千円（2.4%増）となりました。ふるさと応援寄附金は令和7年度決算見込みから 6 億円としました。市債は、緊急防災・減災事業債、脱炭素化推進事業債、公営企業債、子ども・子育て支援事業債などの交付税措置のある市債を活用し、8 億 4,810 万円（36.0%減）としました。

また、上記財源のほか不足する分は、財政調整基金及び公共施設整備基金から 4 億円ずつを繰り入れ、所要財源の確保を図るとともに、更にふるさと応援基金の活用のため、繰入金として同基金から 9 億 5,400 万円を予算化しました。

(単位：千円)

区 分	R8 当初	R7 当初	増 減 額	増減率	備 考
市税	7,582,840	7,481,775	101,065	1.4%	
市民税	3,671,719	3,585,054	86,665	2.4%	
固定資産税	3,407,734	3,379,732	28,002	0.8%	
その他の税	503,387	516,989	△13,602	△2.6%	軽自動車税・市たばこ税
地方交付税	3,684,000	3,724,000	△40,000	△1.1%	普通交付税 3,339,000
地方譲与税 等	2,440,689	1,931,389	509,300	26.4%	地方消費税交付金 1,573,000
分担金・使用料等	442,936	434,887	8,049	1.9%	
国・県支出金	5,565,667	5,437,735	127,932	2.4%	
寄附金	604,200	602,130	2,070	0.3%	ふるさと応援寄附金 600,000
繰入金	1,994,093	2,247,439	△253,346	△11.3%	財政調整基金 400,000 公共施設整備基金 400,000 ふるさと応援基金 954,000
市債	848,100	1,324,200	△476,100	△36.0%	
その他	887,475	1,166,445	△278,970	△23.9%	諸収入 外
一般会計 合計	24,050,000	24,350,000	△300,000	△1.2%	

### (3) 歳 出 (一般会計)

令和8年度は、「瑞穂市第3次総合計画」が新たにスタートします。瑞穂市の将来像 ”

**子どもが輝き 誰もが笑顔あふれる 安心して住みよい都市～ウェルビーイングに満ちあふれたコミュニティの創造～**” を達成するために、計画期間内に着実に実行していく予算としました。

歳出予算における款別の構成比は、民生費（43.0%）、教育費（14.4%）、総務費（13.7%）、土木費（9.1%）の順となりました。民生費は、扶助費を中心とした社会保障関係経費の伸びが顕著で、障害者福祉費、老人福祉費、保育所費などにより 103 億 5,198 万 4 千円となり、予算額は 7 億 3,836 万 2 千円増加（令和 7 年度当初予算との比較。以下同じ。）しています。教育費は、34 億 5,487 万 8 千円となり、小学校体育館空調設備整備事業や中学校校舎照明 LED 改修工事などが主なもので、予算額は 1,216 万 4 千円増加しています。総務費は 32 億 9,872 万 2 千円となり、ふるさと応援寄附金の報奨及び積立事業、庁舎建設基金積立事業が主なもので、予算額は 4 億 2,125 万円減少しています。土木費は 21 億 9,342 万 1 千円となり、都市計画関連業務、公園新設整備事業、穂積駅南土地区画整理事業が主なものです。衛生費は 19 億 2,821 万 3 千円（構成比 8.0%）、消防費は 10 億 2,993 万 7 千円（構成比 4.3%）となりました。

～令和8年度 瑞穂市の主要事業～

＜令和8年度 市の方針＞ ①

- ・地方創生3つの拠点の飛躍
- ・「人権」「平和」「環境」をテーマに次代を担う人たちへ繋ぐ
- ・ウェルビーイングみずほ～持続的な幸福の実現～

＜瑞穂市第3次総合計画 3つの基本目標と共通目標＞

- 基本目標1 未来の夢と希望を育む都市(まち) …①
- 2 笑顔あふれる健やかな都市(まち) …②
- 3 誰もが安心して暮らせる都市(まち) …③
- 共通目標 市民とつくる持続可能な都市(まち) …④

以下共通： **新規** 新規事業 **拡充** 拡充事業

① 市の方針

①～③ ④ 瑞穂市第3次総合計画 基本目標、共通目標に基づく事業

(例) 基本目標1 → ① 共通目標 → ④

企画部

**公共交通事業費 128,738 千円【総合政策課】 ③**

市民の重要な移動手段の一つとして定着している「みずほバス」及び広域的な移動手段である路線バスの運行負担金、樽見鉄道への補助金、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議する瑞穂市地域公共交通協議会への補助金。瑞穂市地域公共交通協議会において令和8年度から2年かけ、地域公共交通計画の策定を行う。(県費 2,684 千円、ふるさと基金 100,000 千円、その他 5,056 千円)

**ふるさと応援寄附金報奨事業 300,000 千円【総合政策課】 ④**

市外からの寄附金納付者に返礼品等を贈呈する事業費。返礼品等の購入費、配送費、事務運営に係る手数料及び委託費が主な費用。

**新規** JR 穂積駅 120 周年記念事業 1,100 千円【総合政策課】 ③

穂積駅の開業 120 周年を記念した記念事業を実施。

**新規** 避難所受付システム導入事業 1,650 千円【市民協働安全課】 ③

災害時における避難所の受付混雑を緩和するため、スマートフォン等で受付ができるデジタルシステムを導入する。正確な避難者情報の把握により迅速な物資支援に繋げるもので、導入費と月額の利用保守料を含む。

**拡充** 避難所標識更新工事 4,125 千円【市民協働安全課】 ③

避難所標識を英語併記へ更新し、言葉の壁を解消することで、外国人を含めた円滑な避難を支援する。(県費 2,000 千円)

**拡充** コミュニティセンター防犯カメラ増設工事 1,540 千円【市民協働安全課】 ③

コミュニティセンターの利用者の安全確保と犯罪抑止を目的として、死角や駐輪場を中心に防犯カメラを増設する。

**地域振興組織補助金 13,816 千円【市民協働安全課】** ②

まちづくり基本条例に基づき、地域社会における自治意識を醸成し、住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、各校区別に生涯学習、防災、福祉活動を通じた地域コミュニティの充実及び活性化を図るために交付する。(ふるさと基金 13,000 千円)

---

---

**総務部**

**拡充** 庁舎建設基金積立事業 400,000 千円【財務情報課】 ④

令和 14 年度の供用を目指して 4 億円を基金に積み立てる。

**拡充** 電気自動車導入事業 2,441 千円【財務情報課】 ④ ③

地球温暖化対策として、脱炭素化事業債を活用し、クリーンエネルギー自動車を導入する。(市債 2,000 千円)

**拡充** 生成A I 活用によるDX推進事業 3,697 千円【財務情報課】 ④

生成A I を活用して、議事録や資料作成に係る時間や費用を削減し、市民サービスに充てる時間の確保を図る。

**新規** 水道事業会計出資金 95,000 千円【財務情報課】 ③

上水道の出資に要する経費（水道管路の耐震化事業のうち、通常事業費を超えて実施する事業の1/4を一般会計で起債し、水道事業会計に出資するもの。（元利償還金の50%を普通交付税措置））（市債 95,000 千円）

==== **健康福祉部** =====

自立支援給付事業費 1,124,565 千円【福祉生活課】 ②

障がい者（18 歳以上）の方が、身近な場所等において必要な日常生活又は社会生活を送るための支援を行なうため、介護、訓練、相談等のサービスの給付を行う。  
（国庫 561,430 千円、県費 280,715 千円）

障害児通所支援事業費 652,370 千円【福祉生活課】 ②

障がい児（18 歳未満）の方やその保護者の方が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、共生できる社会を実現するため、社会生活及び日常生活を営むための相談支援、通所サービスの給付を行う。（国庫 325,521 千円、県費 162,760 千円）

**拡充** 難聴児補聴器給付事業 608 千円【福祉生活課】 ②

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児の保護者に対して、補聴器の購入に要する費用の一部を助成する。（県費 202 千円）  
保護者負担割合 ： （旧）3 分の 1 → （新）原則 1 割 ※国補装具費支給制度に準ずる。

重度障がい者タクシー利用助成事業 3,339 千円【福祉生活課】 ②

重度障がい者の社会参加及び通院に係る費用を助成し、重度障がい者への経済的な支援、移動手段の確保を図るための助成事業。従来の 560 円分のタクシーチケット最大 24 枚の交付に加え、通院用に 1,000 円分のタクシーチケットを最大 48 枚（じん臓機能障害 1 級で人工透析を受けているかたは最大 96 枚）交付する。（ふるさと基金 2,000 千円）

## **生活保護受給事業費 415,675 千円【福祉生活課】②**

生活保護法に基づき、生活困窮者に対し困窮の程度に応じ必要な保護を実施し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を支援する。(国庫 311,756 千円、県費 1 千円、諸収入 2 千円)

## **地域こどもの生活支援強化事業 3,300 千円【福祉生活課】①**

生活困窮世帯やひとり親世帯の子どもなどに食事の提供、民間団体等の子ども食堂の運営等の支援などを行う。(国庫 2,200 千円)

## **新規 病児・病後児保育事業 14,856 千円【子ども支援課】①**

病気や病後回復期の児童を保護者が保育できない際に保育施設で児童を預かる事業。これまでの広域利用と併せ令和 8 年度から市内で新たに病児・病後児保育事業を開始し、子育て世帯のサービスの充実を図る。(国庫 4,951 千円、県費 4,951 千円)

## **高齢者交通費助成事業 41,465 千円【地域福祉高齢課】②**

75 歳以上のかたのひきこもり予防と外出支援を図るための助成事業。令和 7 年 10 月からは要件を緩和し、配偶者が自動車を運転していても本人が運転しなければ助成対象とした。560 円分のタクシーチケット最大 24 枚、通院用に 1,000 円分のタクシーチケットを最大 48 枚交付する。(ふるさと基金 40,000 千円)

## **新規 コミュニケーションゲームサロン事業 904 千円【地域福祉高齢課】②**

一般介護予防事業として、「賭けない、飲まない、吸わない」を条件とした健康マージャンなどのレクリエーションと健康体操を組み合わせることで、高齢者の健康や認知機能の維持・向上を図り、交流の場を提供します。

## **新規 胃がん内視鏡検診委託事業 1,152 千円【健康推進課】②**

がん検診受診率向上の目的で胃がん検診に胃内視鏡検査(集団検診)を導入する。

## **拡充 子宮頸がん・乳がん同日検診委託事業 870 千円【健康推進課】②**

がん検診受診率向上の目的で子宮頸がん・乳がん検診の同日検診(医療機関での個別検診)を新たに導入する。

**新規** RS ウイルスワクチン接種委託事業 13,459 千円【健康推進課】②

定期予防接種化に伴い、妊婦を対象にワクチン接種を実施する。妊婦にワクチン接種を行うことで、母親の胎内で作られた抗体が赤ちゃんに移行し、出生時から乳児におけるRS ウイルスを原因とする下気道感染を予防する。

**環境経済部****塵芥処理事業 831,024 千円【環境課】③**

廃棄物を収集・運搬・処分するための事業。また、廃棄物の排出を抑制し、資源を有効活用するための行動（3R：Reduce〔廃棄物の発生抑制〕・Reuse〔廃棄物の再使用〕・Recycle〔廃棄物の再生利用〕）を推進し、循環型社会の実現を目指す。（手数料 90,750 千円、諸収入 28,774 千円）

**地球温暖化対策推進事業 946 千円【環境課】市③**

地球温暖化対策を推進していくための効果的な方策の協議や周知・啓発を行い、温室効果ガス排出量の削減を目指す。

**土地改良施設維持管理事業費 69,861 千円【商工農政観光課】③**

土地改良施設維持管理適正化事業を活用して、揚水機場等の土地改良施設の更新や、今後の更新に向けた資金拠出等を行う。令和8年度は、柳一色揚水機場、野田揚水機場、十七条揚水機場の整備補修を行う。（県費 30 千円、諸収入 45,330 千円）

**拡充** 商工業振興事業費 28,221 千円【商工農政観光課】③

市内商工業の振興のため、瑞穂市商工会の事業支援のほか、企業立地促進のための工場等設置奨励金、中小企業の活動の資金供給のための中小企業融資利子補給補助金を実施する。（県費 82 千円、ふるさと基金 21,000 千円）

**地域振興券事業費 10,833 千円【商工農政観光課】③**

市内の届出店舗で利用できる地域振興券（かきりん振興券）を、市民に給付する報償金などへの活用を促進することにより、地域経済の活性化と消費喚起を図る。また購入を希望する自治会や団体などにも等価販売し、さらなる利用拡大を進める。（諸収入 10,000 千円）

## 上下水道部

### 拡充 水源地内管路及び重要給水施設管路耐震化事業 167,970 千円【上水道課】

③

水道施設の強靱化に当たり、急所施設である水源地敷地内の導水管及び配水管の耐震化を進めるとともに、災害時の避難施設に指定されている施設のうち配水地域のバランスを考慮した9施設を重要給水施設として設定し、優先的に連絡管の耐震化を進める。

### 新規 給水車購入（応急給水・応援給水体制整備事業） 30,000 千円【上水道課】

③

災害時の速やかな応急給水の実施、及び災害時相互応援協定に基づく被災自治体への応援給水の実施のため、交付税措置のある公営企業債（防災対策事業）等を活用し、給水車（1台）を購入する。（企業債 30,000 千円）

### 拡充 公共下水道（瑞穂処理区）汚水管路施設整備事業 1,704,689 千円

【下水道課】③

汚水処理人口普及率の向上を図るため、国の社会資本整備総合交付金を活用し、牛牧南部地区及び本田団地の汚水管路施設工事を実施し、別府処理区（コミ・ブラ）と瑞穂処理区（公共）の接続統合及び野田新田、野白新田地内の設計業務を実施する。（国庫 285,090 千円、企業債 1,277,800 千円）

### 公共下水道（瑞穂処理区）下水処理施設整備事業 1,788,190 千円【下水道課】③

汚水処理人口普及率の向上を図るため、国の社会資本整備総合交付金を活用し、牛牧地区においてアクアパークみずほ工事を実施する。（国庫 953,910 千円、企業債 750,700 千円）

## 都市整備部

### 新規 道路網整備計画見直し業務 13,988 千円【都市開発課】③

交通需要や人口動態、都市構造の変化を踏まえ、道路の役割や優先度を再整理し、安全性・利便性・防災性の向上を目的に、効率的かつ持続可能なまちづくりに向けた道路網を構築するための計画の見直しを行う。（国庫 4,600 千円）

**重里市道 8-1234 号線第 1 期道路改良工事 57,600 千円【都市開発課】③**

東海環状自動車道の開通により交通量の増加が見込まれる当該路線において、円滑な車両交通の安全性を確保するため、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、現道を拡幅する道路改良工事を実施する。(国庫 28,800 千円、市債 25,900 千円)

**新規 立地適正化計画策定業務 15,864 千円【都市開発課】③**

人口減少や高齢化の進行を踏まえ、医療・福祉・商業等の都市機能や居住を適正に誘導・集約し、持続可能で効率的な都市構造の形成に向けた計画を策定する。(国庫 7,900 千円)

**(仮称) 下牛牧公園整備事業 35,090 千円【都市開発課】③**

瑞穂市緑の基本計画に基づき、市民の安らぎと憩いをもたらす良好な都市環境を創出する公園整備を進める。今年度は、事業地の造成工事を実施する。(ふるさと基金 30,000 千円)

**穂積駅南土地区画整理事業 102,411 千円【穂積駅圏域拠点整備課】③**

JR 穂積駅周辺の魅力向上や多様な課題に対応するため、「瑞穂市 JR 穂積駅周辺整備基本計画」に基づき、穂積駅南土地区画整理事業の仮換地指定に向けた設計や土地区画整理審議会の設置、工事の詳細設計等を進める。(公共基金 100,000 千円)

**穂積駅北口駅前広場機能改善事業 28,210 千円【穂積駅圏域拠点整備課】③**

「瑞穂市 JR 穂積駅周辺整備基本計画」に基づき、駅北口駅前広場の利便性の向上や安全性の確保を目的に、駅前広場の施設整備に向けた計画策定等を進める。

**橋りょう長寿命化事業 42,614 千円【都市管理課】③**

橋りょう長寿命化計画に基づき 1 基の橋りょう修繕詳細設計を実施するとともに、市内にある 2 m 以上の橋りょう 605 橋のうち 119 橋について点検を実施する。(国庫 13,510 千円)

**交通安全施設工事(区画線、道路反射鏡等) 37,870 千円【都市管理課】③**

安全な道路環境を維持するため、区画線、道路反射鏡、注意看板などの更新を実施する。(ふるさと基金 30,000 千円)

**水路転落防止柵工事 19,548 千円【都市管理課】③**

生活道路の安全性の向上のため、小中学校の指定通学路や宅地開発が進んでいる地域に水路転落防止柵の設置を実施する。(ふるさと基金 19,000 千円)

**教育委員会****新規 熱中症対策ウォータークーラー配備 3,740 千円【教育総務課】①**

近年の夏の猛暑による児童生徒の熱中症対策として、市内全小中学校にウォータークーラーを配備する。在校中だけでなく、下校時の水分補給に必要な水分を持参する水筒へ供給する。

**拡充 小学校体育館空調設備整備 543,521 千円【教育総務課】①**

令和7年度に引き続き、小学校の体育館に空調設備を整備する。令和8年度は、市内全7小学校のうち、令和7年度に整備した牛牧小学校、南小学校以外の5校の整備を予定している。(市債 540,800 千円)

**穂積小学校北舎外壁等改修事業(第2期) 72,903 千円【教育総務課】①**

築年数が50年を超え、老朽化が著しい穂積小学校の北舎において外壁等の改修工事を行う。令和7年度からの2ケ年の継続費事業(総額 145,806 千円)として実施する。(市債 72,900 千円)

**拡充 中学校校舎照明LED改修工事 171,138 千円【教育総務課】①**

市内全3中学校において、令和7年度までの体育館に引き続き、令和8年度は校舎の照明をLED化する改修工事を行う。(国庫 55,659 千円、市債 83,400 千円)

**拡充 英語教育の推進 58,825 千円【学校教育課】①**

グローバル化に対応できる豊かな語学力やコミュニケーション能力、異文化を理解する力を身に付けた人材を育成するために、英語教育推進事業として、外国語教育を充実する。ALTを学校に配置し、保育所・幼稚園にも派遣する。また、市内全中学生に対して英検IBAや、小学校6年生を対象に新たに英検ESGを実施する。(公財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料の助成対象を小学5、6年生に拡大する。令和8年度より新たに、AIを活用した英語学習アプリを中学校に導入し、話す力の向上を図る。

**拡充** いじめ未然防止教育推進事業 3,968 千円【学校教育課】①

「瑞穂市いじめ防止対策に関する条例」に基づき、小学校3年生から中学校3年生を対象に学級集団アンケートを実施し、いじめの未然防止と人間関係づくりを目指す。さらに、夏季休業期間中に研修を位置付けて、結果の分析方法、学級経営や個に応じた支援について学び、指導に生かす。

また、児童生徒のコミュニケーション能力、ソーシャルスキル等を育成するための指導法を学ぶ研修を外部講師を招いて実施する。

**拡充** 教育相談事業（不登校対策） 14,971 千円【学校教育課】①

「みずほアジサイプラン」に沿って、不登校・不登校傾向の児童生徒一人一人の状況に合った居場所を確保し、将来、社会的に自立する力を付けられるように、学習支援や生活支援、カウンセリング等を学校と協力しながら行う。令和8年度より、仮想空間を利用した支援用プラットフォームに変更し、支援の充実を図る。また、フレンドリー指導員による支援も継続して実施するなど安心感を生み出していく。

**拡充** 水泳指導委託事業（生津小学校・牛牧小学校） 9,284 千円【学校教育課】

①

民間企業に小学校の水泳指導を委託することで、児童のさらなる泳力の向上やプール管理等に係る教員の負担軽減を図るとともに、プール施設の老朽化や維持費等の問題の解消を目指す。今年度は、生津小学校と牛牧小学校で各学年の水泳授業を全て民間委託する。

**新規** 健康教育・体力向上推進事業 727 千円【学校教育課】①

「体力テストデジタル集計アプリ」を活用し、自身の体力テストの結果を振り返ったり、「運動スキル強化の動画コンテンツ」を利用し、主体的に体力向上を図ったりする児童生徒を育成する。

**特別支援教育推進事業 79,396 千円【学校教育課】①**

多様な教育的ニーズに対応した特別支援教育を推進することを目的として実施するものである。児童生徒の発達状況等を早期に把握し、適切な教育的支援につなげるため、臨床心理士による巡回相談及び就学相談を実施する。また、各学校に学校等生活支援員を配置し、発達障がい等のある児童生徒の学校生活全般に係る支援を行うことにより、指導・支援体制の一層の充実を図る。

### **特色ある学校づくりの推進事業 5,506 千円【学校教育課】①**

地域の特色や伝統等を生かした各学校の特色ある教育活動を推進し、児童生徒にとって魅力ある学校づくりを図るために実施するものである。各小中学校が主体的に企画・実施する授業や体験活動を支援するため、外部講師の活用に係る謝礼をはじめ、教育活動に必要な消耗品の購入費や業務委託費を計上する。これにより、学校の創意工夫を生かした教育活動の充実を図る。

### **新規 動く子ども 110 番！事業 385 千円【学校教育課】①**

近年、登下校中の子どもを狙った声かけ事案や交通事故が発生しており、地域全体で子どもを見守る体制の強化が求められている。本事業は、商工会、郵便局、警察署、PTA、市が連携し、「動く子ども 110 番！」活動を実施することで、児童生徒の登下校時における安全・安心の確保を図るものである。令和8年度は、活動の周知及び効果的な啓発を目的として、車両掲示用ステッカー等の PR 資材を整備し、地域ぐるみの見守り体制の一層の強化を推進する。

### **拡充 私立保育所補助金 523,809 千円【幼児教育課】①**

私立保育所等の管理運営に寄与し、児童福祉の推進を図るため、私立保育所の延長保育や一時預かり事業等への補助金を交付する。

令和9年4月開園予定の公私連携型認定こども園「生津こども園」の建設に対しても補助を行います。(国庫 284,554 千円、県費 61,255 千円)

### **新規 乳児等通園支援制度（誰でも通園制度） 27,605 千円【幼児教育課】①**

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化することを目的に、誰でも通園制度を実施します。6 か月から満3歳未満の保育所や認定こども園等に通園していないお子さんが対象で、月 10 時間まで利用可能です。

### **新規 指定管理者事業の展開 61,000 千円【生涯学習課】①②**

令和7年度に決定した指定管理事業者と連携し、サンコーパレットパークおよび周辺施設の管理運営を行う。指定管理事業を軌道に乗せ、利便性および快適性を高めるとともに、より効率的な運営管理を進める。また、地方創生の拠点として、新たな賑わいを創出する。(ふるさと基金 61,000 千円)

**拡充** 瑞穂市民大学健幸学部の講義の充実 3,308 千円【生涯学習課】②

これまで高齢者向けとしていた受講者の年齢制限を撤廃し、市民の誰もが受講できる「瑞穂市民大学」を創設する。生涯にわたって市民が充実した学びや体験ができる機会を提供し、ウェルビーイングとなるような講義の充実を図る。

**新規** フリースペース改修工事 54,837 千円【生涯学習課】①

総合センター福祉棟2階フロアを改修し、中高生を中心とした若者世代が気軽に集えるフリースペースを整備する。(国庫 28,121 千円)

**新規** 皇女和宮 150 回忌事業 3,000 千円【生涯学習課】②

皇女和宮の 150 回忌を偲び、和宮遺跡保存会と連携し、当該事業を実施する。これを契機として、市内外に瑞穂市の歴史や文化を広める。

**新規** 市の魚「ハリヨ」の推進 1,540 千円【生涯学習課】②

「ハリヨ」の生息状況調査を行い、市の魚として市民意識の醸成、高揚していく足がかりとする。(県費 770 千円)

**新規** サボテン村広場テニスコート改修工事 10,648 千円【生涯学習課】②

令和5年度よりコートの不具合により利用を停止していたサボテン村広場のテニスコートを復旧し、市民へのテニス実施機会の充実を図る。

**新規** 小学校給食費無償化 183,384 千円【給食センター】①

子育て世帯の経済的負担の軽減及び教育環境の充実を目的として令和8年度より国の施策により小学校の給食費の無償化を実施する。(地方特例交付金 183,383 千円)

**新規** 給食費の負担軽減(中学校、幼稚園、保育所) 36,489 千円【給食センター】①

物価高騰により給食費単価の改定を行いますが、子育て世帯の経済的負担の軽減を実施するため市費にて負担する。(ふるさと基金 36,000 千円)